

らら京都 ニュース

「第34回KYOのあけぼのフェスティバル2022」を開催。

プログラム

- ・主催者挨拶
- ・京都府あけぼの賞表彰式
- ・講演
- ・ワークショップ
- ・バザール

去る11月22日、京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）において、男女が社会の対等な構成員として、様々な活動に参画し、輝くことができる男女共同参画社会の実現をめざして、「KYOのあけぼのフェスティバル」を開催。

34回目となる今年は、「知ることで未来が変わるきっかけに～SDGs～」をテーマに実施しました。

○式典

主催者挨拶
京都府知事 西脇 隆俊
KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会
委員長 田中 田鶴子
来賓紹介
京都府議会副議長 村井 弘 氏 他



○京都府あけぼの賞表彰式

「京都府あけぼの賞」は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造に向けて、女性の一層の能力発揮を図るため、各分野での功績の著しい女性やグループに京都府知事が授与するものです。

今年度は5名、1団体の方々が受賞されました。

- ・乾 友紀子（アーティストティックスイミング選手）
- ・奥山 理子（みずのき美術館キュレーター）
- ・小林 香（舞台演出家、脚本家、作詞家）
- ・高橋 阿子（金工作家）
- ・山下 真由子（京都大学数理解析研究所 助教）
- ・要約筆記サークル くさぶえ

（要約筆記により話し言葉を書き言葉にして情報を伝える活動）



○講演

「チャンスの贈与 タンザニア商人たちの将来の備え方」



加速化する気候変動やコロナ禍など既存の常識が当てはまらない現代で持続可能な未来をつくるために、タンザニア商人たちの経済活動を研究する小川さんから「偶然」や「不確実性」を飼い慣らし、それを生きていく力に換えていくことの大切さについてお話を伺いました。参加者からは「想像もできない話だったが、楽しかった」「色々な人間関係にも応用できると思え、良かった」等、好評をいただきました。

講師 立命館大学大学院先端総合学術研究科教授 小川 さやか 氏

○ワークショップ

女性団体が男女共同参画社会の実現に向けた企画を講演や参加型ワークショップなどにより実施し、参加者からは「盛りだくさんで楽しかった」等の声があり、好評を得ました。

○バザール

女性団体や京都府立海洋高等学校の生徒が京都府産の新鮮野菜や加工品、アクセサリ、雑貨等の販売を行いました。

参加者と出店者の交流を深める機会・場の提供ができました。

